

学力向上	豊かな 人間性の育成	健やかな 身体の育成
不登校児童 生徒支援	インクルーシブ 教育	食育の推進
学校・家庭・ 地域連携	その他	

事業名

電子黒板環境整備事業

事業の経過・背景・課題

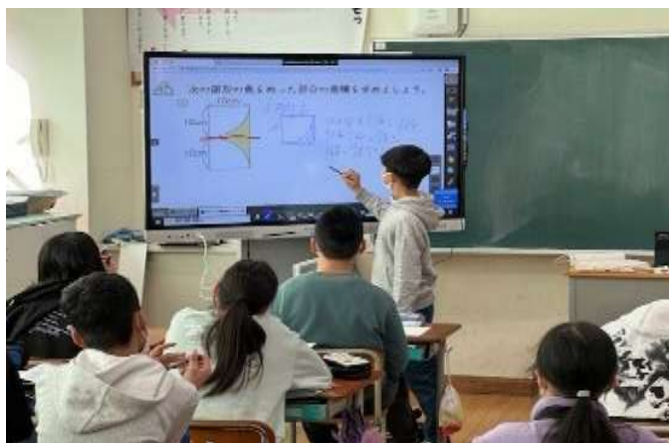
木津川市では平成25年度からプロジェクタを導入し授業での活用を図ってきたが、プロジェクタは投影機能に限りがあるため、児童生徒が協働し、教室内でインタラクティブに意見交流する上で、課題となっている。

取組内容

交付実績額： 3,956 千円

○液晶モニタ型電子黒板を導入し、一人一台端末と組み合わせた協働的な学びを実現

- ・投影機能に限りがあるプロジェクタと異なり、電子黒板の大型液晶モニタによって児童生徒の多様な意見を瞬時に共有できる
- ・教師用端末を接続しなくても電子黒板だけで、インターネットにアクセスしたり資料提示が可能
- ・移動式の黒板として活用でき、同時に複数にタッチ（板書）が可能のため、新しい授業形式を展開



事業の成果・今後の展望等

児童生徒が協働し、教室内でインタラクティブに意見を交流する授業や、一人一台端末を組み合わせ思考を共有し、更に新しい学びを生み出す深い学びが実践ができた。

問い合わせ先

木津川市教育委員会学校教育課（0774-75-1230）

学力向上	豊かな 人間性の育成	健やかな 身体の育成
不登校児童 生徒支援	インクルーシブ 教育	食育の推進
学校・家庭・ 地域連携	その他	

事業名

教育支援センター加茂分室設置事業

事業の経過・背景・課題

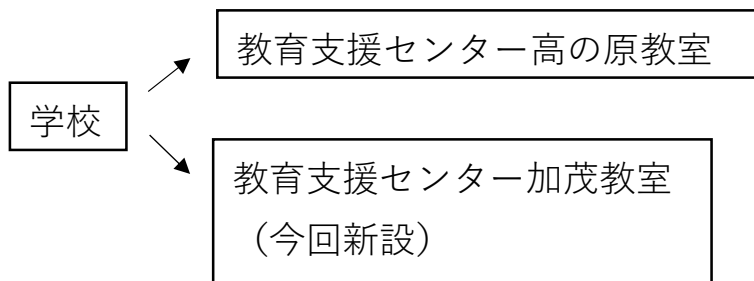
令和6年3月末時点、本市の不登校児童生徒数は、小学校で95名、中学校で155名となっており、年々増加傾向である。そのため本市は教育支援センターを開室し、不登校児童生徒の学校復帰や自立を目指した支援を行う。

取組内容

交付実績額： 2,884 千円

〇個に応じた支援を行い不登校児童生徒の学校復帰や社会的自立を促すため、木津川市の地理的状況を踏まえ、加茂地域に新たに教育支援センターの分室を設置し、加茂地域に在住する不登校児童生徒の居場所を確保

- ・教育支援センター及び学校とも連携しながら、分室を整備
(指導員の配置、分室設置に必要な備品の購入、児童生徒及び保護者への周知)



事業の成果・今後の展望等

加茂地域に分室を設置することで、加茂地域に在住する不登校児童生徒の居場所ができるとともに、保護者に対しても支援を図ることができた。

引き続き、不登校児童生徒の居場所を確保するとともに、個に応じた支援を行い、不登校児童生徒の学校復帰や社会的自立を促す。

問い合わせ先

木津川市教育委員会学校教育課（0774-75-1230）

学力向上	豊かな 人間性の育成	健やかな 身体の育成
不登校児童 生徒支援	インクルーシブ 教育	食育の推進
学校・家庭・ 地域連携	その他	

事業名

教育支援センター保護者相談機能の充実事業

事業の経過・背景・課題

心理的な要因により登校が困難な者に対し、学校への復帰及び将来の自立を目指した支援を行うために、令和5年度から「適応指導教室」から名称変更し「教育支援センター」としての事業の拡大を行う。

取組内容

交付実績額： 57 千円

○教育支援センターと保護者が連携し、一日も早く不登校児童生徒が学校へ復帰し、将来の自立を目指す支援を行う

- ・保護者からのカウンセリング相談の予約について、従来からの電話による予約に加えて、オンラインによる予約受付を開始し、業務時間外においても予約ができるよう教育支援センターの機能拡充
- ・より多くの保護者からの相談を受け入れることが可能となり、支援体制の幅が広がる



▶教育支援センター予約システム

木津川市教育支援センター
Web 予約ページ

※予約状況

予約検索
カテゴリ上位
カウンセリング・不登校相談 予約

リセットする 予約状況を見る

< 2024/09/20(金) >

空きなし 空きあり

	09/20(金)	09/21(土)	09/22(日)	09/23(月)	09/24(火)
09:00					○
10:00				×	×
11:00				×	×
12:00					
13:00				×	○
14:00				×	○
15:00				×	×
16:00					○

A. カウンセリング相談(1時間) AM

残り2

事業の成果・今後の展望等

教育支援センターでの支援や指導方針をホームページを通じて公開するとともに、オンラインでのカウンセリングの予約を利用することにより、保護者への相談窓口の充実を図ることで、不登校児童生徒の学校への復帰や自立の促進に繋げていく。

問い合わせ先

木津川市教育委員会学校教育課（0774-75-1230）

学力向上	豊かな 人間性の育成	健やかな 身体の育成
不登校児童 生徒支援	インクルーシブ 教育	食育の推進
学校・家庭・ 地域連携	その他	

事業名

特別な支援を要する児童生徒の増加への対応事業

事業の経過・背景・課題

通常学級に在籍する特別な配慮を要する児童生徒は、年々増加傾向にある。特別支援教育体制を推進するため、教育上特別の支援を必要とする児童生徒への教育的対応が課題である。

取組内容

交付実績額： 3,002 千円

・教育上特別の支援を必要とする児童生徒一人一人の教育的ニーズを把握し、その持てる力を高め、生活や学習上の困難を改善または克服するため、特別支援教育支援員を配置（3校）

〔特別支援教育支援員の主な配置効果〕

- ・授業における個別支援（ノート指導、用具の準備 など）
- ・生活面や安全面に関する支援（移動補助、身辺の介助 など）
- ・心理的安定や適応促進に関する支援（クールダウン など）
- ・個別の教材作成支援 など

事業の成果・今後の展望等

通常学級に在籍する特別な配慮を要する児童生徒に適切な支援を行うことで、生活や学習上の困難の改善や支援体制の充実により学級運営の安定化につながった。

今後も引き続き事業を実施し、学級内における児童生徒の生活や学習上の困難さを見取れるよう取り組んでいく。

問い合わせ先

木津川市教育委員会学校教育課（0774－75－1230）